

総務教育環境委員会行政視察報告書

現地視察における調査結果について、下記のとおり報告します。

令和6年7月24日

光市議会議長 木村 信秀 様

総務教育環境委員会

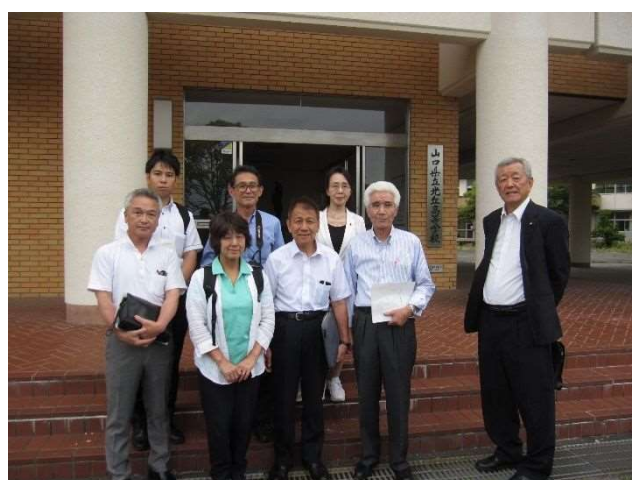
委員長	仲山	哲男
副委員長	早稻田	真弓
委員	木村	信秀（議長）
委員	仲小路	悦男
委員	中本	和行
委員	西崎	孝一
委員	西村	慎太郎
委員	林	節子
随 行	前田	紀子

記

- 1 視察年月日 令和6年6月20日（金）
- 2 視 察 場 所 光市浅江 光丘高校跡地
浅江中学校移転改修に係る現地視察について
- 3 視察調査結果 別紙のとおり

総務教育環境委員会行政視察調査結果

日 時	令和 6 年 6 月 20 日（金）13:30～15:00
市町村名	光市
テーマ	浅江中学校移転改修に係る光丘高校跡地の現地視察
視察場所	光市浅江 光丘高校跡地
応対者	光市教育委員会 伊藤教育長 升部長 加川次長 吉永課長



1 視察概要

浅江中学校の移転改修について、浅江中学校の移転先である光丘高校跡地にて吉永課長より説明を受けました。

（1）全体共通

- ・照明：LED 器具に取り換え
- ・トイレ：洋式を増やす
- ・床：比較的状态の良い箇所は研磨して塗装、傷みのひどい部分は張替え
メイン動線はバリアフリー化
- ・壁、天井：状態に問題がない場合は塗装
- ・校舎：現在の浅江中学校のおよそ 1.7 倍の大きさ

（2）1 階部分

- ・校長室は、2 階の職員室の隣に移動する。
- ・調理・被服実習室は、災害時の避難炊き出しとして使う。
- ・給食センターからの給食を受け入れるため給食庫を設ける。
- ・生徒と地域交流のためのスペースを設ける。

- ・現在付いているエアコンは、使えるものはそのまま使い、壊れている物のみ更新する。
- ・西側渡り廊下棟 1 階に防災倉庫を備える。
- ・避難所としてはランチルーム・地域交流スペースを優先的に使用する。
- ・中庭に面して不登校支援教室を設ける。視線に配慮。

(3) 2 階部分

- ・普通教室と普通教室の間に交流スペースを設ける。
- ・職員室は、下が吹き抜けのため冬寒いので階下に断熱材を施す。
- ・図書室は多目的室としてそのまま使用する。
- ・特別支援学級、通級指導教室を設ける。



(4) 3 階部分

- ・部活動の地域移行に対応できる多様な空間を設ける。
- ・講義室は多目的室として使用。コミュニティセンターの講座などでの使用も想定。

(5) 体育館

- ・概ね良好な状態だが床は研磨し、そのまま使う。壁の一部が雨漏りしているのでそこは改修する。
- ・トイレがないが校舎と体育館が隣接しているので新設しない。



(6) 外周、庭部分

- ・入口の左手に駐車場を設けるので樹木の伐採が必要。
- ・1 階の渡り廊下は、バリアフリー化するので改修する。
- ・教職員駐車場は、舗装はせずに砂利を敷き直し草の生え難いようにする。
- ・北側自転車置き場は、生徒指導上の死角になることや老朽化のため撤去する。
- ・現在グラウンドは、光高校のサッカー部が練習に使っている。フェンスに葛が伸びて壁のようになっているため、対応が必要と考えられる。
- ・グラウンド等広い敷地の不要な樹木は、管理上負担となるため伐採して減らす。
- ・中庭の樹木はほとんど伐採撤去する。
- ・サッカー場にトラックを整備し、砂場や鉄棒等を設置する必要がある。
- ・テニスコートに使用していた場所をどの程度整備するか、今後検討する。

2 質疑応答

Q：県所有の古い備品や楽器ストーブ等がかなりあるが、どうするのか。

A：工事までには、県側が撤去することになっている。

Q：教室に設置しているエアコンはどうするのか。

A：原則的にそのまま使用。交流スペースとなる箇所の場合は移設して使用する。

Q：部室はそのまま使用するのか？

A：既存の部室については、部室用具倉庫（地域移行後の団体等）として活用することも検討している。

各委員の所感

仲山 哲男

この前、光丘高校を訪れたのは、2年半前、閉校前に同窓会が行った見学会に卒業生である娘と出かけた時でした。この度現地を見て、使われなくなり草が繁茂し、建物も傷み始めてはいるものの、意外と健全な状況を保っていると感じた。以前委員会視察で訪れた時にも印象に残っていることですが、普通教室以外の特別教室・実習室等が多く、様々な学びや活動のチャンスを作る舞台として、魅力ある校舎だと改めて確認できた。しかし、校舎のサイズが市内の他の中学校と比べ相当大きく、その余裕のある分ゆとりと可能性があるのですが、この新たに整備する浅江中学校を、市内の標準として校舎を整備するのは、新規に整備する「やまと学園」の校舎を見ても規模的に困難と考えられ、今後の課題だと感じた。また、敷地の広さや斜面を含む状況、築40年経っている校舎や施設の大きさを考えると、維持管理にかかる費用について、軽減化、平準化の対策が切実に求められるものと考えられる。

早稲田 真弓

浅江中学校移転改修事業について、はじめに教育委員会の案内により1階から3階までの教室とスペースの活用目的や改修内容の説明を受けました。

「新しい時代の学びを実現する学校施設」の考え方により、子どもたちの学びだけでなく、教職員、保護者、地域の方々にとっても学びや活動の場としての改修という説明で、避難所機能も備えている点は良いと感じました。全体のコンセプトは理解し、十分共感できますが、施設が想定以上に広く改修には相当な費用がかかると推察しました。

屋外付帯設備工事等についても説明があり、老朽化した自転車置き場の撤去や渡り廊下のバリアフリー化、駐車場整備や植栽伐採などの必要性を確認しました。

それらの改修後も周辺環境設備や学校備品、移転費用などの経費が必要とのことで今後の財政が懸念されます。いずれにしても、施設改修が順調に進み、さまざまな方の学びや

活動の場として活かされることを願います。

木村 信秀

教育委員会担当所管より現場の説明をいただいたが、常任委員会の議案審査（令和6年度光市一般会計補正予算（第1号））もあることより事前審査にならないよう現場状況の視察にとどめた。この後6月25日(火)に開かれる委員会において質疑及び意見陳述をしたい。

仲小路 悦男

光丘高等学校は1983年に開校し、41年を経過しており、更に一昨年に閉校し使用されないまま2年を経過しています。今回視察をして、各所において改修が必要であると実感をしました。壁、床、天井、外構など破損や傷みの通常に考えられる補修、多くの箇所がバリアフリーになっていないことへの対応、そして、ひかり学園として使用するための考え方による改修が計画されています。令和8年に完成された時に生徒や、住民にとって本当によかったと、光市の教育環境としてモデルとなると同時にできる限りの経費の節減が求められています。そのためには、細部に亘る改修の計画、設備・備品等の費用の積算について、チェックの機能が重要です。随時、必要に応じて公開する方法も検討して、市民の納得できる対応を進めていかなければならないと思います。多くの疑問と課題を改めて感じた視察でした。

中本 和行

去る、20日に浅江中学校移転改修事業について、旧光丘高校現地で、施設改修の考え方、改修によって創り出される空間、各ゾーンの視点に基づき、1階から4階まで丁寧な説明を聞きました。

様々な意見を聞き協議を重ねられ、「新しい時代の学びを実現する学校施設」に向け、多様な意見の反映により、豊かな施設として具体的にまとめられていると思いました。

施設改修の内容ですが、概算費用約当初予算では、10億円さらに今回の補正で、約4億円と多額事業費と、この補正に疑問を感じます。小中一貫校を推し進めるにあたり、計画の3期構想にかかる総額のお金の試算ですが、膨大なお金がかかりますが想像するだけで、将来の児童数の減少を考えて、健全な財政制度設計が出来ているのか、手綱締めないといけないかと思います。

既存の学校施設を置き去りにせず、平準化を図らないといけない。また、浅江地区の活性化に寄与する施設であります様に願っています。

西崎 孝一

広大な敷地と教室数の多さが予想外。

校舎改修計画では、普通教室と普通教室の間に交流スペースを設けるようになっているが不要ではないのかと感じた。

また校舎内にかなりの光丘高校のもの(椅子、机、ロッカー、ストーブ、楽器等)が残っているが工事に邪魔にならないか。

令和 6～7 年度の 2 年間にかけ改修工事をするということだが、これは浅江中学校が移転するためのものであり令和 22 年度頃に浅江小学校が移転する際にはまた工事を必要とする。

今回、浅江小学校が移転することを見据えた工事を一括して行うのではないのか。財政的にも無駄がないと思う。

西村 慎太郎

浅江中学校移転改修事業に伴い、現時点での改修ポイントの説明を受けながら現地確認できたことは有意義でありました。CS を核とした「地域教育力日本一」の更なる推進を視点として掲げており、生徒間の交流や地域との交流を創出する意図や工夫がされていくのだと想像でき移転後の浅江中学校はバージョンアップしたものになると感じました。一方で、現在の老朽化の進み具合を見てみると内外装に留まらず非常に多くの改修すべき点があると感じました。費用対効果の観点から軽度な劣化が多い壁や天井については全体に塗装を施すことや床タイル等は剥がさずに上から貼るなど手法を採用し、雨漏りや損傷の大きい箇所については更新が予定されているとのことでした。敷地が広大な分、樹木の管理や除草作業などのランニングコストの大幅な増加が見込まれます。今後の委員会等で改修の詳細な内訳想定や維持管理など長期的な視点も含めて質して参ります。

林 節子

令和 6 年 6 月 20 日光丘高校の跡地を活用した浅江中学校の移転について、現地を視察いたしました。私は、5～6 年前、光丘高校の広々とした素晴らしい学び舎を拝見しました。光高校に統合されて 2 年余り、人が通わなく風が通らないと 2 年間で全体的に大変傷みが進んでいました。この度、教育委員会職員より、校舎内の改修内容の説明を受け、各施設の老朽の全体状況を確認しました。

一方で、小学生の学びの場として広く数多い教室の使い方は大変心遣いが豊かであると感じました。浅江中学校の移転につきましては、特に高台に立地した場所で、台風や河川の氾濫時に避難場所として安心できる所だと思います。地域の方々も大いに期待をされています。

最後に生徒一人ひとりに配慮され、高いクオリティで対応していただくことを望みます。